

「説明文には余分なアンダーラインを引かずに大事な部分だけに絞ってラインを引く。」今回、社会福祉士国家試験対策講座（4限：相談援助の基盤と専門職）の授業見学をさせていただいた際の総長先生からの最初のお言葉です。私は、そのお言葉に「どうして総長先生は私の気持ちがわかるのだろうか？」と不思議でした。なぜなら、授業担当教員が画面共有したテキストには、多くの文章にアンダーラインが引かれ、私は正直どの部分が重要なのか、すぐには理解できなかつたからです。そのことに一瞬でお気づきになった総長先生は、「たくさんアンダーラインを引くと学生にとってわかりにくい」と担当教員への確かなアドバイスをされていたらっしゃいました。いつ、どんな時も学生に寄り添ってご指導されているからこそ、学生の気持ちがわかるのだと思います。

さらに、テキストにポイントを加筆する際は、教員が事前に説明した上で加筆し、その後30秒程度で解答を暗記します。その際も総長先生は、テキストの説明文章に記載されたわかりにくい専門用語よりも丁寧でわかりやすい説明を加筆するよう教員へ指示を出され、「理解しながら暗記する」よう学生へ声かけをされていたらっしゃいました。授業の終盤に実施した確認テストでは、今まで福祉を専門的に学んだことのない私も満点をとることができました。この効果的な学習方法を継続すれば、必ず試験に合格できると実感いたしました。最後に、総長先生は学生へ「今日勉強した内容は繰り返し暗記して定着させること。必ず国家試験に合格するという意識でコツコツ学習すること。合格すると就職にも有利になり給料があがるので頑張って合格してほしい」と心強い励ましのお言葉をかけていらっしゃいましたので、学生も学習意欲が向上したことと思います。

大学のトップでいらっしゃる総長先生は、ご多忙にもかかわらず、国家試験対策講座や公務員試験対策講座、教員研修会など、様々な機会を通じて積極的に学生たちや教職員の指導に当たっておられます。私は、総長先生の教育理念のもと、福祉専門職支援室の職員として学生の実習や資格取得の支援を行うために日々の業務に邁進していく所存です。